

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（公民）	7	7

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
発行者	①学習課題の示し方 ②公民としての基礎的教養を培うための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせるための工夫	④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載事項	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
02 東書	①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その右横に、1時間で追究する課題を提示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数4点 ③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗と国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の領域と経済水域、竹島、北方領	④大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。大単元ごとに身近な事例をあげ、「どのような」「どのように」という問いを掲載している。 ⑤大単元の終章を独立して配置している。持続可能な社会に関わる課題例は17、課題解決の手順は5つの段階で示されている。	⑦総ページ253、「私たちと現代社会」28(11%)、「私たちと経済」50(20%)、「私たちと政治」84(33%)、「私たちと国際社会の諸問題」46(18%)、「その他」45(18%)で構成。また、第1章から第5章、終章の6章で構成。 ⑧発展的な学習の事例数28点（「深めよう」8点、「公民にチャレンジ」20	⑨総掲載数620点（絵図159点、写真283点、地図17点、表グラフ138点、新聞16点、年表7点） ⑩巻末に法令集を示している。用語の説明を巻末の用語集で解説している。「公民にアクセス」により、用語の解説や関連した内容の具体的な取組等を示している。	⑪「深めよう」8点。 ⑫単元で学ぶ語句確認の掲載数153。単元末におけるまとめ方の具体例17点。

	<p>土、尖閣諸島、沖ノ鳥島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。</p>	<p>⑥話し合い 20, ディベート 1, 身近な地域の調査 3, 選挙シミュレーション 2, 新聞社説の比較 1, 裁判の傍聴 1, 模擬裁判 1, 地方公共団体調べ 2, 条例調べ 1, 地方財政(歳出) 1, ロールプレイ 3, 環境ラベル調べ 1, 四大公害調べ 1, 市町村の環境保全の取組調べ 1, TPP交渉調べ 1, お弁当の企画書の作成 1, 現代の戦争や紛争調べ 1, お弁当の企画書の作成 1, 現代の戦争や紛争調べ 1, ウェビングマップの作成(貧困問題) 1, 模擬国際会議 1, アンケート調査 1, 地図作業 1, 意見交換 1。</p>	<p>点)</p>		
<p>17 教出</p>	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その横にサブタイトルを示している。タイトルの下に、1時間で追究する課題を提示している。 ②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲</p>	<p>④大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。写真の下部に、説明文とともに、写真の内容に関する項目ページ数を示している。「政治とは何だろうか」等単元の内容を2ページ</p>	<p>⑦総ページ 255, 「私たちと現代社会」 22 (9%), 「私たちと経済」 60 (23%), 「私たちと政治」 84 (33%), 「私たちと国際社会の諸問題」 38 (15%), 「その他」 51 (20%) で構成。</p>	<p>⑨総掲載数 525 点 (絵図 111 点, 写真 240 点, 地図 13 点, 表・グラフ 146 点, 新聞 11 点, 年表 4 点) ⑩巻末に法令集を示している。法令集には一部下線で強調されている。巻末</p>	<p>⑪「読んで深く考えよう」 6 事例, 各章末に「学習のまとめと表現」。 ⑫単元で学ぶ語句確認の掲載数 16。単元末におけるまとめ方の具体例 15 点。</p>

	<p>載数5点</p> <p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗と国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の国土とその周辺、竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。</p>	<p>で構成されている。</p> <p>⑤大単元の終章を独立して配置している。持続可能な社会の形成に関する課題例は17、課題解決のために3つの手順を示している。</p> <p>⑥新聞日記（新聞記事のスクラップ）1、ディベート（監視カメラの設置）1、シミュレーション（裁判員裁判）1、裁判傍聴に行ってみよう1、プレゼンテーション（まちづくり）1、ポスターセッション（企業のCSR）1、レポートの作成（福祉の課題）1。</p>	<p>⑧発展的な学習の事例数12点（「読んで深く考えよう」6点、「言葉で伝え合おう」6点）</p>	<p>の用語集で解説している。関連する内容を「公民の窓」で示している。</p>	
<p>35 清水</p>	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その左横に、1時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数2点</p> <p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗、国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資</p>	<p>④大単元に導入において、1ページに2枚の写真と説明文を掲載している。ページの下部に人物の写真と、その人物の著作等からの引用文を示している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は7、課題解決の手順は5つの段階で示されている。</p>	<p>⑦総ページ229、「私たちと現代社会」18(8%)、「私たちと経済」62(27%)、「私たちと政治」74(32%)、「私たちと国際社会の諸問題」28(12%)、「その他」47(21%)で構成。また、序章、第1編から第3編の10章で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数</p>	<p>⑨総掲載数288点（絵図53点、写真143点、表・グラフ76点、地図8点、新聞6点、年表2点）</p> <p>⑩巻末の法令集では一部青字で強調されている。側注で用語の解説をしている。</p> <p>内容に関わる具体的な事例を一部右下に枠組みで示している。</p>	<p>⑪「もっと知りたい公民」12点、「深める公民」11点。</p> <p>⑫単元で学ぶ語句確認の掲載数63。単元末におけるまとめ方の具体例12点</p>

	料として、日本の領土と経済水域、竹島、北方領土を取り上げている。	⑥調べる学習について、23事例を掲載している	23点（「もっと知りたい公民」12点、「深める公民」11点）		
46 帝国	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その右横に、1時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数2点</p> <p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗と国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、経済水域、竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。</p>	<p>④大単元の導入において、1ページに1枚の写真と説明文を掲載している。写真の下には、大単元の概要及び問いを掲載している。「30年前の今と昔を比較してみよう」等を設け、絵図や問いを掲載している。大単元において終章を配置している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は11、課題解決の手順は4つの段階で示されている。</p> <p>⑥ロールプレイング、ディベート、新聞スクラップの作成、事実と意見の区別、裁判における主張の整理、裁判傍聴、カードによる整理・分析、意見の分類・整理（KJ法、ツリースタイル、フィッシュボーンスタイル）、まち</p>	<p>⑦総ページ241、「私たちと現代社会」28（12%）、「私たちと経済」60（25%）、「私たちと政治」74（31%）、「私たちと国際社会の諸問題」42（17%）、「その他」37（15%）で構成。また、第1部から第5部の14章で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数12点（「トライアル」7点、「未来に向けて」5点）</p>	<p>⑨総掲載数479点（絵図130点、写真199点、地図9点、表・グラフ123点、新聞15点、年表3点）</p> <p>⑩巻末に法令集があり、一部赤線で強調されている。単元を貫く問い（例えば「パン屋の経営者になってみよう」）が掲載されている。側注に「地理・歴史をふりかえる」を設けている。</p>	<p>⑪「トライアル」7点、「未来に向けて」5点。</p> <p>⑫単元で学ぶ語句確認の掲載数110。単元末におけるまとめ方の具体例10点。</p>

		の予算案の作成，企業の企画書作成，ディスカッション（議論）の15事例を掲載している。			
116 日文	<p>①見開きごとに，タイトルを項目で示し，その左横に，1時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数6点</p> <p>③国旗，国歌に関しては，タイトル「国歌と主権」として，本文に記載がある。また，本文に係る資料として，日本の領域と経済水域，竹島，北方領土，尖閣諸島，沖ノ鳥島を取り上げている。</p>	<p>④大単元の導入において，1ページに2枚の写真を掲載し，写真の下には，大単元の概要を掲載している。「現代社会はどんな社会だろうか？」等見開き2ページの導入ページを配置している。終章を独立して配置している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は49，課題解決の手順は4つの段階で示されている。</p> <p>⑥テーマに基づく話し合い，ブレインストーミング，ディベート，議論，ロールプレイ，施設調査，インタビュー調査，社会参画の提案，シミュレーション，携帯電話のルールづくり，金利の計算，新聞の調査，地域の名物やまちおこしの調査。まちの財政調査，死刑制度についてディベート，株価</p>	<p>⑦総ページ263，「私たちと現代社会」30（12%），「私たちと経済」56（21%），「私たちと政治」88（33%），「私たちと国際社会の諸問題」41（16%），「その他」48（18%）で構成。また，第1編から第5編の6章で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数30点（「アクティビティ」18点，「明日に向かって」8点，「チャレンジ公民」4点）</p>	<p>⑨総掲載数553点（絵図159点，写真216点，地図14点，表・グラフ123点，新聞34点，年表7点）</p> <p>⑩巻末に用語解説と類似用語集を示している。巻末に法令集を設けている。側注に用語の説明を示している。関連する内容を「公民+α」「アクティビティ」で示している。</p>	<p>⑪「公民ズームイン」4点，「情報スキルアップ」3点，「明日に向かって」7点，「チャレンジ公民」4点。</p> <p>⑫単元で学ぶ語句確認の掲載数100。単元末におけるまとめ方の具体例27点。</p>

		の動き調べ、ボランティア活動の 17 事例を掲載している。			
225 自由社	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その下に、1 時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数 2 点</p> <p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗と国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の領域、経済水域、竹島、北方領土、尖閣諸島、沖ノ鳥島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。</p>	<p>④大単元の導入において、1 ページにイラストと単元の内容の問いを掲載している。終章を独立して配置している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は 6、解決の手順は、4 つの段階で示されている。</p> <p>⑥ディベートをやってみよう、章末のまとめと発展に「友だちと手分けして、同じ日のいろいろな新聞を持ち寄り、第 1 面をみて、記事の内容や配列のちがいを調べてみよう」という課題の 2 事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ 237, 「私たちと現代社会」36 (15%), 「私たちと経済」36 (15%), 「私たちと政治」70 (30%), 「私たちと国際社会の諸問題」52 (22%), 「その他」43 (18%) で構成。また、序章、第 1 章から第 5 章、終章の 7 章で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数 21 点 (「もっと知りたい」21 点)</p>	<p>⑨総掲載数 261 点 (絵図 72 点, 写真 113 点, 地図 12 点, 表・グラフ 60 点, 新聞 1 点, 年表 3 点)</p> <p>⑩巻末に法令集を示している。側注で用語の説明をしている。「ここがポイント」で、学習内容を単元ごとにまとめている。</p>	<p>⑪「もっと知りたい」21 点, 「課題の探求」3 点。</p> <p>⑫単元で学ぶ語句確認の掲載数 65。単元末におけるまとめ方の具体例 30 点。</p>
227 育鵬社	<p>①見開きごとに、タイトルを項目で示し、その下に、1 時間で追究する課題を提示している。</p> <p>②「対立と合意」「効率と公正」に関する具体例の掲載数 2 点</p>	<p>④大単元の導入において、1 ページに 3 枚の写真を掲載し、内容の問いを掲載している。</p> <p>⑤持続可能な社会の形成に関わる課題例は 13、解決の手順は、5 つの段階で</p>	<p>⑦総ページ 253, 「私たちと現代社会」34 (13%), 「私たちと経済」50 (20%), 「私たちと政治」78 (31%), 「私たちと国際社会の諸問題」45 (18%), 「その他」46 (18%) で</p>	<p>⑨総掲載数 495 点 (絵図 132 点, 写真 222 点, 地図 8 点, 表・グラフ 92 点, 新聞 38 点, 年表 3 点)</p> <p>⑩巻末に法令集があり、一部下線で強調している。側注で用語の説明をして</p>	<p>⑪「やってみよう」6 点, 「理解を深めよう」5 点。</p> <p>⑫単元で学ぶ語句確認の掲載数 119。単元末におけるまとめ方の具体例 10 点。</p>

	<p>③国旗、国歌に関しては、タイトル「国旗、国歌」として、本文に記載がある。また、本文に係る資料として、日本の主権範囲、竹島、北方領土、尖閣諸島を取り上げている。さらに、領土問題に関するコラムを掲載している。</p>	<p>示されている。</p> <p>⑥話し合い、ディベート、ランキング、「自分の過去・現在・未来シート」の作成、家族にインタビュー、身近な祭りの調査、各新聞社の社説によるディベート、裁判を傍聴、裁判員裁判の判決ロールプレイ、地域おこしパンフレットの作成、企業訪問の 11 事例を掲載している。</p>	<p>構成。また、第 1 章から第 5 章の 5 章で構成。</p> <p>⑧発展的な学習の事例数 18 点（「やってみよう」6 点、「考えよう」4 点、「理解を深めよう」8 点）</p>	<p>いる。関連した内容の記載のあるページを用語の下に示している。</p>	
--	---	--	--	---------------------------------------	--